

四谷大塚	5年		
	算数		
学習内容	6月の学習内容 14回 水量の変化 15回 総合(予習シリーズ5年④ 第11回～第14回) 16回 旅人算とグラフ 17回 いろいろな旅人算		
家庭学習ポイント	第14回は「水量の変化」です。体積の単位換算から始まり、容器の形状から中に入っている水の体積を計算する問題、高さ平均(容器を傾けたときの水の深さの平均)などについても学習します。容器の底面積が途中で変わって問題については、つるかめ算の解法も学習します。容器の中に仕切りのある問題などは特に、真正面から見た図を書いて考える必要があります。第15回は総合回、第16回と17回は旅人算についてです。「旅人算とグラフ」では、基本的なダイヤグラムの読み方、書き方、そして問題演習を通して「ダイヤグラムを使って考えるのに適している問題とはどのようなものか」を学んでいきます。単に使い方を学ぶだけでは「どのような場合にそれを使うといいのか」は学べません。ぜひ上記のような視点で「どのようなときにこの道具を使うのか」を学んでいきましょう。第17回ではさらに、さまざまな旅人算のバリエーションについて学習します。		
課題の把握と解決策	チェック1	体積の単位換算が正しくできますか？	チェック
	解決策	体積は「たて×横×高さ」で表されるので、基本的に10×10×10=1000倍ごとに新しい単位を使います	□
	チェック2	水槽の中に仕切りのある問題では、真正面から見た図をかいて考えていますか？	チェック
	解決策	これは「必須」といっていい解法です	□
	チェック3	ダイヤグラムを使用して解く問題にはどのような共通点があるか説明できますか？	チェック
	解決策	時間を可視化できるダイヤグラムは「時間」の要素の大きい問題を解くのに適しています	□
	チェック4	ダイヤグラムのどこに注目して考えていくか、勘所がわかっていますか？	チェック
	解決策	ダイヤグラムも水量を表すグラフも、ポイントは「折れ曲がっている点」ですね	□
	チェック5	旅人算の問題を考える際に、必ず何らかの図を書いていますか？	チェック
解決策	5年生のこの時期以降、まったく図なしで考えられる問題は少なくなっています	□	
四谷大塚	5年		
	国語		
学習内容	6月の学習内容 14回 説明文・論説文(6) / 要旨② 接続関係② / 対義語① 15回 総合(予習シリーズ5年④ 第11回～第14回) 16回 随筆文(3) / 意見と理由① 因果関係 / 外来語 17回 随筆文(4) / 意見と理由② 抽象と具体 / ことわざ		
家庭学習ポイント	第14回は13回から引き続き、論説文の読解です。文同士、段落同士のつながりから中心文を見つけ、筆者の言わんとする要旨を読み取ります。素材文もグローバル化やコミュニケーションなど、近年の入試頻出のテーマのものが扱われており、内容的には特に難解ではありませんので「精読」の素材としては好適です。15回、16回は随筆文の読解です。事実と筆者の意見の読み分けをテーマに何回か学習してきていますが、15回は「因果関係」がテーマです。傍線部の理由を、因果関係をもとに考えていきます。まずは「傍線部付近」からチェックしていきましょう。16回のテーマは「抽象と具体」です。「抽象と具体」というと分かりづらいですが、やるべきことは「傍線部が抽象的な表現(物や事として思い浮かべづらいもの)の場合は、同じ意味を具体的に言い表している部分を本文から探す」という作業です。慣れてしまえば今後どんどん使える読解の技術習得です。		
課題の把握と解決策	チェック1	接続詞に注目して論説文を読んでいますか？	チェック
	解決策	因果関係や並列、逆説、言い換えなど種類を把握しておけば文どうしの関係が見えてきます	□
	チェック2	「随筆文の読解のポイントは事実と意見の読み分け」が身につけてきましたか？	チェック
	解決策	意見の部分に文章全体のテーマが隠されています	□
	チェック3	因果関係を把握しながら文章を読み取っていますか？	チェック
	解決策	事実に対して筆者がある意見、感覚を持ち「なぜなら」とあると筆者の意見の理由が見えてきます	□
	チェック4	「具体と抽象」が感覚的にわかってきていますか？	チェック
	解決策	具体⇒抽象ならば「チワワ⇒犬⇒哺乳類⇒脊椎動物」といったゲームなどで練習してみましょう	□
	チェック5	お子さんは敬語を使いこなしていますか？	チェック
解決策	敬語が使えるお子さんは、大人と接する機会が多い傾向があります。親御さんがサポートを	□	

四谷大塚	5年		
	理科		
学習内容	6月の学習内容 14回 太陽系の天体 15回 総合（予習シリーズ5年㊤ 第11回～第14回） 16回 気体（1） 17回 気体（2）		
家庭学習ポイント	第14回は太陽系の天体について学習します。恒星（自分で光を出している星）である太陽を中心に「水星・金星・地球・火星・木星・土星・天王星・海王星」という9つの惑星が回っており、その惑星はまわりを回る衛星を持つものがあるということからですね。地球の衛星は月で、もっとも身近な天体の1つです。地球から太陽、月までの距離とそれぞれの大きさの関係から、地球上からの見かけの大きさが同じくらいということをしかり理解しておく必要があります。惑星の中では特に「宵の明星・明けの明星」で親しまれている金星が入試にもよく出ます。近年は火星への探査機派遣が盛んですから、そのあたりも常にチェックしておくといいですね。第16回、17回は「気体」です。酸素、二酸化炭素だけでなく、水素やアンモニア（水に溶かすとアンモニア水）、一酸化炭素（炭素が不完全燃焼すると発生）、塩化水素（水に溶かすと塩酸）など、いろいろな形で入試にも出ます。酸素、二酸化炭素、水素に関しては製法を記憶しておくことが必要です。その際、酸素を発生させるときに使う固体の二酸化マンガンは「しょくばい」であり、過酸化水素水が分解するのを助けるだけで、そのものは変化しないことも重要です。気体を発生させる際に使用する実験器具の名前、使い方なども押さえておきましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	総合回での学習で過去の仕上げができていますか？	チェック
	解決策	ピンポイントで復習が出来るチャンスです。過去単元をしかりと見直しましょう	□
	チェック2	週テスト、組分けテストの直しは毎回できていますか？	チェック
	解決策	答えを直すだけでなく、再度考えて「解き直す」ことが重要です	□
	チェック3	太陽系の惑星をすべて答えられますか？	チェック
	解決策	冥王星が惑星でないことに注意しましょう	□
	チェック4	金星が朝方と夕方しか見えず、真夜中に観測できない理由を正しく説明できますか？	チェック
	解決策	地球より内側を公転する内惑星だからですが、図を書いて説明できるようにしておきたいですね	□
	チェック5	「二酸化炭素といえば」の問にいくつ答えが返ってきますか？	チェック
解決策	燃焼や呼吸、温室効果など様々ありますね。それぞれの気体についてマインドマップでまとめよう	□	
四谷大塚	5年		
	社会		
学習内容	6月の学習内容 14回 中部地方 15回 総合（予習シリーズ5年㊤ 第11回～第14回） 16回 関東地方 17回 東北地方・北海道地方		
家庭学習ポイント	第15回は中部地方についてです。中部地方は広く、沿岸部と内陸部、また日本海側と太平洋側で気候も大きく違います。それぞれの気候をいくつかの切り口でしかり把握しておきましょう。川などはその名前だけでなく「木曾川＝輪中」「長良川＝鶺鴒」「富士川＝日本三大急流」といったキーワードとともに覚える、また流れる平野や注ぐ湾とセットで覚えるなど、それぞれに関連性をもたせて頭に入れるようにすると、知識に厚みが出ます。第16回は総合回です。第15回は総合ですが、四谷大塚のカリキュラムは改訂で繰り返しが少なくなっているので、総合回での復習機会を大切にしましょう。第16回は関東地方です。砂浜海岸の代表格としての九十九里浜、大都市周辺で行われる近郊農業、工業は京浜・京葉・関東内陸の3つの工業地帯・地域を押さえておくことがポイントです。第17回は東北地方・北海道地方です。地方別地理の学習では自然と地形、産業を中心に学習していきますが、必ず地図帳と白地図を併用し、自分で白地図に書き込みながら地形と自然環境を把握するようにしましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	地理の学習の「スタイル」は決まってきましたか？	チェック
	解決策	地図帳、白地図を併用し、日本のどこにあるのか、地形はどうかを把握しましょう	□
	チェック2	中部地方の世界遺産は？	チェック
	解決策	白川郷・五箇山の合掌造り集落です	□
	チェック3	東京のの昼夜人口比率（昼間の人口が夜間の人口の何%か）が120程度の理由は？	チェック
	解決策	周辺の神奈川県や千葉県が90程度であることと合わせて説明してみましょう	□
	チェック4	東北地方を通る新幹線4つを答えられますか？	チェック
	解決策	北海道・東北・秋田・山形新幹線です	□
	チェック5	十勝平野で行われる「輪作」について正しく説明できますか？	チェック
解決策	「二毛作」「二期作」と混同しないように記憶しておきたいですね	□	